

四半期報告書

(第119期第1四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

わがもと製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町二丁目1番6号

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 3
- (2) 新株予約権等の状況 3
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 3
- (4) ライツプランの内容 3
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 3
- (6) 大株主の状況 3
- (7) 議決権の状況 4

2 役員の状況 4

第4 経理の状況 5

1 四半期財務諸表

- (1) 四半期貸借対照表 6
- (2) 四半期損益計算書 8

2 その他 12

第二部 提出会社の保証会社等の情報 13

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第119期第1四半期（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
【会社名】	わかもと製薬株式会社
【英訳名】	WAKAMOTO PHARMACEUTICAL CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 神谷 信行
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目1番6号
【電話番号】	（03）3279-0371（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目1番6号
【電話番号】	（03）3279-0371
【事務連絡者氏名】	経理部長 増田 康彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第118期 第1四半期 累計期間	第119期 第1四半期 累計期間	第118期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	2,345,643	2,489,801	9,927,168
経常利益（千円）	11,152	71,684	179,504
四半期（当期）純利益又は四半期 純損失（△）（千円）	△71,267	35,496	183,344
持分法を適用した場合の投資利益 （千円）	—	—	—
資本金（千円）	3,395,887	3,395,887	3,395,887
発行済株式総数（千株）	34,838	34,838	34,838
純資産額（千円）	12,090,150	12,692,461	12,638,731
総資産額（千円）	16,853,460	17,761,874	17,552,183
1株当たり四半期（当期）純利益 又は四半期純損失（△）（円）	△2.05	1.02	5.27
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
1株当たり配当額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	71.74	71.46	72.01

（注）1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額は、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の概況

当第1四半期累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、一般用医薬品市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあつて当社の医薬事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼベリン点眼液0.1%」「リズモンTG点眼液」等の点眼剤、緑内障・高眼圧症治療点眼後発薬「ラタノプロスト点眼液0.005%わかもと」・「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」、眼科手術補助剤・硝子体内注用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド硝子体内注用40mg」および共同販売医家向けサプリメント「オキュバイト」シリーズ等の販売促進を行ってまいりました。

薬粧事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、薬用歯磨き（医薬部外品）「アバンビーズ」シリーズをリニューアルした「アバンビーズDX」シリーズとして「アバンビーズDX歯周病予防」「アバンビーズDX口臭予防」「アバンビーズDXダンプランシユ美白」「アバンビーズDX知覚過敏予防」「アバンビーズDXコーラルε（イプシロン）」の5製品および新発売した「わかもと整腸薬ビナチュラ」の販売促進を行ってまいりました。

特販事業では、国内向けに医薬品原料の販売と他社受託品を、海外向けに「わかもと」、乳酸菌および点眼剤の製造販売に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は24億8千9百万円（前年同期比6.1%増）、営業損失7百万円（前年同期は営業損失4千4百万円）、経常利益は7千1百万円（前年同期は経常利益1千1百万円）、四半期純利益は3千5百万円（前年同期は四半期純損失7千1百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「マキユエイド硝子体内注用40mg」、「オキュバイト」の売上が増加しましたが、「ジクロード点眼液0.1%」、「ゼベリン点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」が減少いたしました。その結果、売上高は13億9千8百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

薬粧事業では、主力製品の「強力わかもと」の売上が増加し、その結果、売上高は4億8千4百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

特販事業では、国内向け他社受託品が増加し、また輸出用「わかもと」が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は6億5百万円（前年同期比39.5%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間における当社の研究開発活動の金額は2億円であります。なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	34,838,325	34,838,325	東京証券取引所 市場第一部	権利内容に何ら 限定のない当社 における標準と なる株式であ り、単元株式数 は1,000株であ ります。
計	34,838,325	34,838,325	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	34,838,325	—	3,395,887	—	2,675,826

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 56,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 34,225,000	34,225	—
単元未満株式	普通株式 557,325	—	—
発行済株式総数	34,838,325	—	—
総株主の議決権	—	34,225	—

（注） 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株（議決権の数3個）含まれております。

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
わかもと製菓株式会社	中央区日本橋本町二丁目1番6号	56,000	—	56,000	0.16
計	—	56,000	—	56,000	0.16

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当第1四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、京橋監査法人による四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（平成19年内閣府令第64号）第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金の項目から見て、当社グループの財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,533,559	2,663,087
受取手形及び売掛金	※ 3,793,239	※ 3,759,831
有価証券	405,995	406,055
商品及び製品	1,374,749	1,374,769
仕掛品	395,302	459,929
原材料及び貯蔵品	511,353	406,732
繰延税金資産	332,523	227,204
その他	142,030	207,536
流動資産合計	9,488,753	9,505,146
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,464,961	6,515,799
減価償却累計額	△3,642,020	△3,700,262
建物（純額）	2,822,940	2,815,537
構築物	272,592	272,589
減価償却累計額	△187,264	△190,712
構築物（純額）	85,328	81,877
機械及び装置	7,179,602	7,232,820
減価償却累計額	△6,195,971	△6,262,498
機械及び装置（純額）	983,630	970,322
車両運搬具	39,046	32,966
減価償却累計額	△36,097	△30,706
車両運搬具（純額）	2,948	2,260
工具、器具及び備品	796,206	800,108
減価償却累計額	△729,517	△736,108
工具、器具及び備品（純額）	66,688	63,999
土地	341,552	341,552
建設仮勘定	311,418	437,592
有形固定資産合計	4,614,507	4,713,142
無形固定資産		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	942	912
ソフトウェア	70,588	143,521
ソフトウェア仮勘定	73,781	—
その他	5,943	5,918
無形固定資産合計	451,255	450,352
投資その他の資産		
投資有価証券	1,971,059	1,998,983

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
保険積立金	592,805	597,035
関係会社出資金	1,777	—
繰延税金資産	341,164	408,703
その他	90,859	88,509
投資その他の資産合計	2,997,666	3,093,233
固定資産合計	8,063,429	8,256,728
資産合計	17,552,183	17,761,874
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	* 1,111,387	* 1,088,333
短期借入金	332,000	928,000
未払法人税等	56,745	8,146
未払消費税等	39,635	10,900
賞与引当金	262,100	90,002
返品調整引当金	13,000	12,000
その他	579,759	1,076,862
流動負債合計	2,394,628	3,214,245
固定負債		
退職給付引当金	1,406,908	1,388,252
役員退職慰労引当金	9,600	9,600
長期借入金	1,102,000	457,000
その他	316	316
固定負債合計	2,518,824	1,855,168
負債合計	4,913,452	5,069,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,085,089	6,120,586
自己株式	△15,956	△17,386
株主資本合計	12,140,846	12,174,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	497,884	517,548
評価・換算差額等合計	497,884	517,548
純資産合計	12,638,731	12,692,461
負債純資産合計	17,552,183	17,761,874

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	2,345,643	2,489,801
売上原価	1,109,366	1,076,799
売上総利益	1,236,276	1,413,002
販売費及び一般管理費	1,281,029	1,420,916
営業損失(△)	△44,752	△7,914
営業外収益		
受取利息	95	75
受取配当金	17,783	19,288
受取地代家賃	6,275	6,615
受取技術料	34,062	36,838
その他	24,378	37,321
営業外収益合計	82,595	100,138
営業外費用		
支払利息	7,145	6,212
固定資産除却損	574	1,553
寄付金	2,840	7,990
その他	16,129	4,783
営業外費用合計	26,690	20,540
経常利益	11,152	71,684
特別利益		
固定資産売却益	—	139
役員退職慰労引当金戻入額	136,300	—
特別利益合計	136,300	139
特別損失		
投資有価証券評価損	158,622	—
関係会社清算損	—	1,777
特別損失合計	158,622	1,777
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△11,170	70,046
法人税、住民税及び事業税	4,000	4,400
法人税等調整額	56,097	30,150
法人税等合計	60,097	34,550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△71,267	35,496

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

前事業年度 (平成25年 3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年 6月30日)
<p>※期末日満期手形</p> <p>期末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。</p>	<p>※四半期会計期間末日満期手形</p> <p>四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が四半期会計期間末日残高に含まれております。</p>
<p>受取手形 7,993千円</p> <p>支払手形 50,815千円</p>	<p>受取手形 12,972千円</p> <p>支払手形 11,765千円</p>

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日)
減価償却費	190,489千円	156,400千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期累計期間（自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日）

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

無配のため記載すべき事項はありません。

II 当第1四半期累計期間（自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日）

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

無配のため記載すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,437,851	469,087	434,101	2,341,041	4,602	2,345,643	—	2,345,643
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,437,851	469,087	434,101	2,341,041	4,602	2,345,643	—	2,345,643
セグメント利益又は 損失 (△)	△61,274	17,254	△2,020	△46,041	1,288	△44,752	—	△44,752

- (注) 1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

- II 当第1四半期累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 2
	医薬事業	薬粧事業	特販事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,398,804	484,596	605,527	2,488,928	873	2,489,801	—	2,489,801
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,398,804	484,596	605,527	2,488,928	873	2,489,801	—	2,489,801
セグメント利益又は 損失 (△)	△83,236	△67,443	141,970	△8,708	794	△7,914	—	△7,914

- (注) 1. 報告セグメントに含まれない「その他」の内容は、不動産賃貸業であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	△2円05銭	1円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	△71,267	35,496
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	△71,267	35,496
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,792	34,778

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

わかもと製薬株式会社

取締役会 御中

京橋監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小宮山 司 印

業務執行社員 公認会計士 荒木 勝己 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているわかもと製薬株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第119期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、わかもと製薬株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。